



ほんなこてゆたたり

文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

【内容ダイジェスト】

“もんごもんご”しながら学ぶこと

- ・引っ付いたり離れたり、ぶつかりあったりまとまったりして学ぶ人間関係
- ・縦割り活動による異年齢交流

NIE（教育への新聞活用）の取組

- ・新聞活用で何を
- ・子ども達の現状に合わせた新聞活用
- ・今後の拡がり

“もんごもんご”しながら学ぶこと ～他者との関わり方を学ぶ大事な場所：学校～

※ “もんごもんご”とは、都会の通勤電車の中のように混雑している様子です。

学生時代も社会人になっても、還暦近くのこの歳になっても、人間関係は、思い通りにはいきません。だからこそ、醍醐味も感じます。分かってもらった、相手の気持ちが分かった等々、共感できた時には、喜びもひとしおです。もちろん、うまくいかない時には、とことん悩みます。

子ども達も、“もんごもんご”の学校生活の中で、人間関係の厳しさ、難しさ、喜び等、日々学んでおります。大人がうまくサポートしながら、よりよい人間関係を築くための基礎を身に付けてほしいと思います。その基礎とは、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを伝えたりするようなことです。個々人と関わったり、集団（チーム）と関わったりします。



多良小では、異学年のグループをつくり、遊んだり、給食をいっしょに食べたり、掃除をしたりすることにも取り組んでいます。これも他者との関わり方を学ぶ大事な体験となります。年下とやさしく関わる姿が、あちらこちらで見られます。

子どもがつらそうにしている時は、関わる大人も自分のこと以上につらいこともあります。“ひっきやで子育て”精神で、みんなでがんばりましょう。

NIE (教育への新聞活用) の取組

来年度まで2年間、NIE (教育への新聞活用) に取り組みます。各社の新聞提供も受けます。講師も、優先して派遣してもらいます。

私たちは、言葉を使って、情報を共有したり、思いや気持ちを伝えたりします。生涯を通して、言語力が大事であることは変わりません。国語科はもちろんのこと、他の教科・領域においても、学校行事であっても、体験を通して、必要性を感じながら、話す、聞く、読む、書く力を、楽しくつけていくことを考えています。NIE もその一環です。



佐賀新聞社メディア局コンテンツ部 NIE 推進デスクの多久島文樹(たくしまふみき) さんに来校いただきました。ゲストティーチャーとして新聞活用の仕方を、子ども達に体験させていただきました。

一人一人に、新聞一部を配っていただき、その中から、自分の気になる記事の一つ探しました。スポーツ欄や地域のニュース、全国のニュースから、自分が気になったニュースを探し、みんなに知らせました。新聞を一部手にして見回すだけでも、まず、貴重な体験でした。



新聞の活用については、情報収集や新聞づくり、投稿等、いろいろな活動が考えられます。そのような活動を通して、様々な情報収集をしたり、それを生活に生かしたり、情報発信をしたりするおもしろさや、大切さを実感してほしいと思います。